

□ 労働環境調査（平成26年）

- ・ 調査実施期間 平成26年11月（調査対象 平成26年9月30日現在）
- ・ 有効回答数 9145事業所（有効回答率68.8%）

□ 有害業務と設備対策

	有害業務あり	内、設備対策あり	設備対策の内容(MA)			
			設備の密閉化	局所排気装置	全体換気装置	その他
粉じん作業	13.4%	72.1%	15.4%	63.5%	52.9%	11.2%
有機溶剤業務	16.6%	88.8%	21.9%	72.6%	50.6%	14.8%
特化物取扱業務	7.4%	87.2%	30.4%	79.0%	47.1%	13.2%

□ 粉じん作業の状況

	粉じん作業がある	粉じん作業の種類（複数回答）				
		アーク溶接作業と岩石等の裁断等作業		金属等の研磨等作業		
		うち屋外におけるアーク溶接作業に係る粉じん作業	うち屋外における岩石及び鋳物を裁断等する作業	うち屋外における岩石又は鋳物を研磨・ばり取りする作業		
合計(n=9,145)	13.4% (100%)	52.7%	17.4%	1.8%	53.5%	3.7%
推定事業場数		291,000	50,600	500	295,400	10,900

※適用事業場数 4,120,804（平成26年7月1日現在）より推定

※ただし、労働環境調査は製造業、建設業、運輸業、廃棄物処理業等の有害業務の多い業種を対象としているのに対し、適用事業場数は全業種の合計であるため、推定は過大となっている。

※アーク溶接作業そのものは測定義務対象外。特定化学物質(Mn,Coなど)が含まれている場合は対象。

□ 作業環境測定とその結果

	作業環境測定を行うべき作業場あり	内、作業環境測定を実施した	作業環境測定実施結果(MA)		
			作業環境管理が適切である (管理区分Ⅰ)	作業環境管理に改善の余地がある (管理区分Ⅱ)	作業環境管理が適切でない (管理区分Ⅲ)
粉じん作業	51.6%	80.5%	89.2%	13.2%	7.7%
有機溶剤業務	65.2%	82.3%	88.6%	12.7%	5.0%
特化物取扱業務	64.8%	90.2%	88.6%	11.1%	5.7%

□ 作業場の環境改善の実施内容

作業環境測定を行うべき作業場のある事業場計	内、作業場の環境改善を実施した	環境改善の内容(MA)					
		局所排気装置の設置	局排の能力アップ	設備の密閉化	作業方法の変更	その他	不明
60.6%	38.6%	21.6	37.9	18.6	35.6	26.8	0.5